

「ずっと安心して暮らせていける幸せを感じています。」
家族が待つ「わが家」ができて、「帰る場所がちゃんとある安心感」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.040
カムホームストーリー
香美市・Sさま邸
竣工:2013年7月
設計担当:福井 美絵



「毎月の返済額を考えていろいろ調べてくれたおかげで、計画通りに生活できてます」

「今のアパートじゃ手狭になるね」。3人目のお子さんの妊娠が分かり、家づくりを考えはじめたSさまご夫妻。今から4年ほど前のことです。当時同じアパートに住んでいた友人がタイセイホームで新築し、家を見に行ったり、住み心地の良さを聞いたりするうちに、だんだんと家づくりへの思いが強くなりました。ハウスメーカーへ訪れた際、「土地も探しますよ」と言われ手際よく話が進んでいき、思わず契約しそうになったことも。自分が本当に建てたい家じゃないと奥さまがストップをかけ、タイセイホームへ相談しました。4800種類もある住宅ローンの中で「ここがいいと思います」とSさまに合ったものを提案してくれた岡村（お客さまサポーター）に、「毎月の返済額を考えて、いろいろ調べてくれました」と信頼を寄せるSさま。「前の家は光熱費が高かったから」と太陽光発電でオール電化にこだわったこと、細かな資金計画で、「計画通りに生活できてます」と建ててからもこれからも、ずっと安心して暮らせていける幸せを感じています。



「一番暑い時期でもお風呂上りの時ぐらいで、それ以外はつけてないです」

「前の家でストレスだったところを上げてください、まずはそこをクリアしましょう」と言われ、奥さまが特に希望したのは、日当たりとキッチンの広さ。南側にお庭をつくりLDKを配置して、たくさん光が入るようにしました。しついの塗り壁を使った室内では結露もなく、冬は朝と夜の短い時間だけエアコンをつけると、それだけで十分暖かいと言います。夏場は「一番暑い時期でもお風呂上りの時ぐらいで、それ以外はつけてないです」と、快適な室内環境が実現しました。

みんなで囲めるようにと選んだアイランド型キッチンでうれしそうにお手伝いをするお姉ちゃん。奥さまが作業中でも動線を邪魔することなく動ける広さがみんなのお気に入り。自分たちで人工芝を敷いたお庭、リビングダイニング、タタミコーナー、どこにいてもキッチンから様子が伺える安心設計です。単身赴任中の旦那さまは、子どもたちと一緒に外で遊ぶ時間が好きだと言います。サッカーしたりバトミントンしたり、奥さまのつくったおにぎりを食べたり、お家にながら楽しい公園気分を味わっています。



「アパートの時はどこかに出かけないってよく外出してたけど、今はこの家にずっといられる」

風通しの良いSさまのお宅では、日中いくつかの窓を開けて生活しています。そこでベランダのテラスドアに網戸をつけていなかったことに不便さを感じることも。「よく風が入るところだけ虫が入ってくるので、他の窓に対応します」と、ベランダに面した書斎の窓を通して風を取り込んでいます。新築して3年が経ち、3人のお子さんたちもすくすく大きくなりました。今はお庭で遊ぶのと同じぐらい、ゲームにも夢中。充電をしている間は手の届かないところに置いていますが、伸びてくるコードに「やっぱりここにコンセントがあったら」と振り返ります。おそうじの時は、ダイニングの壁にたったコンセント一つで、玄関を入れた1階すべてにそうじ機がかけられるとか。負担が一つ減ることでおそうじがラクになりました。くつ以外に、外のおもちゃや自転車の部品、しまうものがたくさんある玄関は、「まだ余裕がありますよ」という収納力。リビングに入っただけのちよとしたフックにも「使い勝手がいい」と、うれしい奥さまです。

外へ中へと元気に遊びまわる3人も、この家が大好き。「アパートの時はどこかに出かけないってよく外出してたけど、今はこの家にずっといられる」と奥さま。家族が待つ「わが家」ができて、「帰る場所がちゃんとある安心感」がうれしいと話す旦那さまは、その日を心待ちに、今日も遠いところで頑張っています。

